

今後の会議所ホームページによるイベント情報発信 とクルマ好きを育む活動について審議



第3回 特別委員会開催

日 本自動車会議所は2019年3月4日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で、第3回特別委員会（委員長＝和辻健二・日本自動車工業会常務理事）を開催し、クルマ好きを育む活動の支援、第46回東京モーターショー2019の来場促進、当会議所の情報発信の強化について審議を行った。

開会にあたり、当会議所山岡正博専務理事の就任挨拶のあと、和辻委員長から昨年10月に開催された、自工会主催の東京モーターフェス（以下、TMF）に対する関係団体の支援協力へのお礼と、第46回東京モーターショー（以下、TMS）への協力要請があった。

続いて、当会議所の畠山太作常務理事から、「3月1日の当会議所理事会において委員会活動の見直し案が承認され、特別委員会テーマは、新規の『経済・産業委員会』で取り上げていく予定」との報告が行われた。

1. 自動車関連情報の発信状況

2017年8月、当会議所ホームページ（以下、HP）に掲載を開始した「クルマの情報館」の2018年1～12月のアクセス数が報告され、掲載件数は約2,000件、サイト内で見られたページビュー（以下、PV）は約25万件となった。

1年を通じたアクセスランキングのトップは「原付二種免許、最短2日で警察庁が規制緩和、二輪業界は歓迎（2018/4/9掲載）」がPV6,000件超えとなる圧倒的1位となった。閲覧者は、16歳前後の高校生と見られ、インターネット検索サイトに、キーワード「原付二輪 免許」と入力すると、ピーク時のアクセスランキングはMSNで4位、Yahoo! JAPANとGoogleで5位に掲載された。

上位ランキングについては、2位「交通事故、自動ブレーキの普及で追突が目立って減少（2018/2/16）」、4位「自動ブレーキの普及加速、昨年の装着率9割前後（2018/2/22）」、8位「高齢者免許更新早めに、検査・講習予約取れずに失効も（2018/1/5）」という、いずれも警察庁が発表したニュースが入った。

5位「全ト協、第50回全国トラックドライバー・コンテストを開催（2018/7/5）」、9位「全日本トラック協会会長が坂本克己氏に交代（2018/6/30）」の運輸関係が上位となり、主にトラックドライバーによる閲覧とみられる。

イベント関係では、3位「日本自動車会館 親子キッズエンジニア開催（2018/1/31）」、10位「参加体験型イベント 交通安全。アクション2018 新宿4月開催（2018/3/7）」、13位「JARI 第31回国際電気自動車シンポ・展示会EVS31を12年振りに開催（2017/10/23）」と続く。

その他、6位「自動車用動力伝達技術研究組合（TRAMI）発足（2018/5/16）」の産学官連携の開発情報、7位「自動車整備工場、エーミング作業になお課題（2018/4/26）」といった運転支援装置の整備にも関心が高いことがうかがわれる。

11位「国交省補正予算 UDタクシーに追加補助金 災害時協定が要件（2018/1/30）」、12位「国交省 二輪車高速道路乗り放題拡充、来春から首都圏以外でも（2017/12/2）」については、ドライバー特典につながる情報は比較的閲覧が多いことが分かった。

また、都道府県別掲載件数では、東京を除き、愛知46件、北海道45件、静岡43件、神奈川39件、大阪

34件と続く。掲載数の少ない山陰・四国・九州地域の情報収集は今後強化していく必要がある。

こうした結果を踏まえて、これまで情報源としてきたインターネット情報、一般紙・専門紙誌・会報などに加えて情報源の追加を行うため、委員に対して協力を要請した。さらに、昨年開催された『日本自動車会館 親子キッズエンジニア』の集客効果が確認できたキッズポータルサイトの「いこーよ」への掲載事例を受けて、ソーシャル・ネットワーキング・システム（以下、SNS）を積極活用すべきとの意見も出された。

2. 重点イベントの支援結果と今後の活動計画

2018年10月、お台場で開催されたTMFは、自動車関連23団体が自工会のバナーを掲載、2017年のTMSの22団体を上回った。団体機関誌にも開催案内が掲載され集客・話題作りに貢献できたと考えている。

2019年TMSはこれまでの会議所会員のほか、会員支部へバナーの掲載を要請することに加えて、工作機械、素形材など自動車のものづくり関連団体とも連携する案が事務局から提案され、自工会TMS室とも今後の進め方を協議することとなった。

3. 情報発信・共有の事例紹介

イベント・行事の情報発信にSNSを活用している委員団体から事例紹介を受けた。日本自動車販売協会連合会からFacebook、日本自動車整備振興会連合会からYouTubeのほか、Twitterについては近畿運輸局自動車整備による活用事例紹介があった。

また、2018年アクセスランキング1位の「原付二輪免許」に絡んで、日本二輪車普及安全協会（以下、日本二普協）から、同協会制作の安全普及活動Webサイトの3コンテンツ（原付免許試験問題、実技講習、原付スクーターSafety Riding）の紹介があり、「原付免許を取得する人だけでなく、免許を保有している人にも閲覧していただき、交通ルールを再確認して、事故無くバイクに乗ってもらいたい」との紹介があった。さらに、毎年3月は原付免許を取得する新高校生が多いため、「クルマの情報館」で日本二普協サイトを随時紹介していく。

最後に、2019年の「クルマの情報館」は、会員と連携した情報ネットワークを強化し、アクセス数3万PV/月を目標に取り組むことが事務局から提案され、了承された。

	2018年「クルマの情報館」ページタイトル BEST20	PV
1	原付二種免許、最短2日で 警察庁が規制緩和、二輪業界は歓迎	6,065
2	警察庁、昨年の交通事故 自動ブレーキ普及で追突が目立って減少	4,092
3	親子キッズエンジニアを日本自動車会館で開催	3,487
4	自動ブレーキ普及加速、昨年の装着率9割前後	3,372
5	全ト協、第50回全国トラックドライバー・コンテストを開催	2,391
6	自動車用動力伝達技術研究組合（TRAMI）発足	1,883
7	整備専門工場、エーミング作業になお課題 日刊自動車新聞調査	1,636
8	高齢者免許更新早めに 検査・講習予約取れず失効も	1,450
9	全日本トラック協会会長が坂本克己氏に交代	1,416
10	参加体験型イベント「交通安全。アクション2018 新宿」 4月7日(土)、8日(日)に開催	1,217
11	国交省補正予算 UDタクシーに追加補助金 災害時協定が要件	1,167
12	国交省、二輪車高速道路乗り放題拡充 来春から首都圏以外でも	1,116
13	JARI、第31回国際電気自動車シンポジウム・展示会「EVS 31」(2018年秋)を 12年振りに日本で開催!	970
14	日野自動車、ICTを活用したお客様向けサービス「HINO CONNECT」の提供を開始	967
15	パナソニック、2021年度に向けた車載事業の中期戦略を発表	917
16	第58回交通安全国民運動中央大会を開催(開催日:2018年1月18日~19日) 全日本交通安全協会、警察庁	858
17	第11回東北モーターショー in 仙台、2月10~12日 23ブランドが出展	834
18	体験型イベント「交通安全。アクション2018 お台場」 11月17日(土)、18日(日)に開催	816
19	大阪文化芸術フェス・万博記念公園サーキットに新旧の名車100台が集合	808
20	BSサミット、エーミング作業工数を策定 適正な修理料金の根拠に	749